



りんごだより

2026年 2月（最終号） 草笛学園

まだまだ寒い日が続いているが、子どもたちにとっては、雪の降る日も雪に触れたり、雪だるまを作ったりと新しい発見があり、ワクワクする日ですね♪さて、今年度のりんご教室もお終いに近づいています。どんなことがあったかな？この1年間のあゆみを振り返りつつ、今年度のしめくくりができればと思います。

「抱っこ」の価値

子どもは抱っこが大好きです。歩くのがイヤなのか、甘えたいだけなのか、理由はどんなところにあるのでしょうか。自分より大きな大人に抱っこされていると安心感があるのかもしれません。残念ながら自分が抱っこされていた当時の記憶はありません。ひょっとすると、明確な理由などないのかもしれません。

理由はどうであれ、大きくなったらおいそれとはできない技、信頼できる人との関係でこそありえる技、さまざまな人間のつながりの中で存在する技。考えれば考えるほど、抱っこがもつ意味の奥深さが見えてきます。

「抱っこしてほしい」攻撃に困っているママやパパには「そんなに甘やかしていいの？」という声に負けないで、子どもが「もういい」と来なくなるまで、思いっきり抱っこしてあげてほしいのです。様々な理由で抱っこができないときは「ぎゅっ」でも大丈夫。

がんばったら、そのご褒美に抱っこしてもらえる「がんばればごほうび抱っこ」も気になります。子どもが求めている抱っこは条件付きではありません。駆け引きも、脅しもない、無条件こそ大切な条件です。

抱っこしてほしさに、気持ちをどんどんすり減らしてがんばるようになると、無条件に甘えることを子どもは忘れてしまいます。がんばっていなければ甘えられない、本当は甘えたいのに、おとの希望通りにがんばらないと甘えることは許されないという認識が定着し、心の宿題はたまるばかりです。

子どもが望んでいるのは、あくまで子どもが抱っこをしてほしい時に、おとなが子どもの気持ちを理解して、無条件に実現される抱っこです。

でも、「そんなに甘やかせてよいのですか？」とか「クセになりませんか」という意見が聞こえてきます。子どもが「して！」「やって！」と求めてきたことをそのまましてあげることを良しとしない風潮があるからです。

だから、よけいに強調したいのです。子どもが必要とするときに、子どもが求める

だけ抱っこをすれば、どの子も必ず卒業していくということを。今日の抱っこは今日のうちに。やり残した宿題の積み残しがないように。

池添 素著 ～いつからでもやりなおせる子育て～

1年間ありがとうございました！！

月に1回の外来教室は、回数は少ないですが、活動の流れを毎回大きく変えずにすることで、分かって活動に期待して参加できるように。お家人と一緒に安心感から、「やってみよう！」と挑戦したり、お家人やお友だちと遊びの場や楽しさを共有し、手応えや自分の良さを感じられる場面を大切に。そして、何より外来教室が楽しい場所になるように。ということを大切にしてきました。保護者の方には、集団での姿を客観的に見て得意なところや苦手なところを知ったり、お家では見られない我が子の姿を発見したり。こんな風に声をかけたり手助けしたりするとわかりやすいんだな、と関わり方のヒントになるように。懇談では、同じように悩みを抱えた保護者同士の情報交換の場になればとの思いで行ってきました。

安心できる環境や楽しい活動の中で、大人の支えや手がかりを得ながら「やった！」「できた」という気持ちを積み重ね、大人やお友だちに褒められたり、認めてもらうことで自信や意欲へつながっていきます。さらに、その意欲が「もう1回」「もっともっと」という気持ちを高めていきます。ゆっくりと待ってもらえるからこそ、子どもたちは“やりきる経験”を積み重ねていくこともできます。外来教室が子どもたちにとってそんな場となっていれば、嬉しく思います。これからも子どもの気持ちに寄り添いながら、子どもたちの願いや思いを引き出していく場になっていけたらいいなと思います。保護者の皆様にはたくさんのご理解とご協力ありがとうございました！！

★来年度、外来教室を継続される方は、『ばなな教室』となります。木曜日の午後が開催日となりますので、よろしくお願ひします。

次回のりんご教室は・・・

りんご教室①…3月3日（火） 9：20～11：15

→ フルーツバスケット

りんご教室②…3月はありません

◎持ってくるもの：水筒・シューズ・必要に応じて着替え

*保護者の方も動きやすい服装でお願いします。



来年度の外来（ばなな）教室について・・・

★来年度の教室についての詳細は3月の下旬に案内を郵送します。（利用希望の方のみ）